

令和6年度学校評価(児童評価)

【実 施】 前期評価:令和6年6月末～7月上旬 後期評価:令和6年 11 月末～12 月上旬

【方 法】 アンケート方式による。質問ごとに「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「思わない」の4段階からの選択。

【評価点】 「そう思う」100 点、「大体そう思う」75 点、「あまりそう思わない」25 点「思わない」0 点として得点化。50 点が中間点。

【考 察】

学校だより「伊吹っ子だより」第 11 号(令和7年1月22日発行)に掲載したものを一部修正、加筆しています。

★★★

左の表にありますとおり、6割以上の項目で90%以上の評価となっています。2学期には「運動会」や「いぶきフェスティバル」といった大きな行事があり、意欲を持って子どもたちが活動に取り組んでいます。その過程の中でのさまざまな「きづき」を通して、「できた」、「わかった」、「伝わった」等の自信を高めているのではないかと考えています。

3ポイント以上アップした項目は今回3項目でした。その3項目はどれもうれしい内容です。学習の振り返りの定着は次の学習への意欲につながります。温かい言葉遣いを9割以上の子どもができていていると感じています。そして「あきらめない」姿勢も感じていることは本当にたのしく思いました。こういった子どもたちのプラスの気持ちを基礎として、それぞれの「いのち」、「ふれあい」、「きづき」を引き続き高めていきます。毎年の懸案事項である「読書活動」については微増です。子どもたちは毎週末に図書館で本を借りており、その本をしっかりと読めば月 5 冊程度の読書量を確保できるわけですが、子どもたちのライフスタイルの変化や習慣づけの難しさも感じますが、モジュールの読書タイムや読み聞かせの機会を生かしながら、今後も少しずつ積み上げていきます。

3ポイント以上のダウンは項目4の「家庭学習」についてです。学習が進んでいく中で、家庭学習の内容も少しずつ変化があります。自主学習ノートの取組等、お子さんの学習状況を把握していただき、ご助言いただけるとありがたいです。『家庭学習パワーアップ週間』の取組も定着してきており、一人ひとりの興味関心や課題をふまえて、内容やその量も含めて各学級でも家庭学習のあり方を検討し、工夫していきたいと思います。

R6児童振り返り(前期後期の比較)

質問項目		R6 後期評価点	R6 前期評価点
1	学校が楽しい	89.3	90.9
2	授業よくわかる	88.2	85.5
3	家も学校もよく本を読む	67.6	65.6
4	家庭学習	89.3	96.4
5	英語学習楽しい	91.2	92.4
6	しっかり話を聞く	91.9	92.8
7	ICT 学習頑張った	91.9	91.3
8	授業後振り返り	87.9	83.7
9	地域へのあいさつ	90.8	92.0
10	家庭コミュニケーション	88.2	88.8
11	友だち関係	97.1	94.2
12	交流活動は楽しい	98.2	97.8
13	掃除時間いっぱい	91.5	92.4
14	道徳での交流	88.2	89.1
15	あたたかい言葉遣い	91.5	87.7
16	難しいこともあきらめない	90.1	84.8
17	行事進んで参加	88.6	90.2
18	健康的な生活	93.4	93.1
19	伊吹小の行事自慢できる	93.0	93.1
20	先生はほめてくれる	91.5	93.1
21	先生は話をきいてくれる	93.0	94.6
22	登下校の安全	97.1	97.5

前期と比較し、3ポイント以上アップ

前期と比較し、3ポイント以上ダウン

評価点: [そう思う]100 点[大体そう思う]75 点[あまりそう思わない]25 点[思わない]0 点として得点化しています。